

『教会の信仰告白（宣言）って?』（後編） 吉田真司

教会の信仰告白とは、教会が、その時代の限界と人間の不完全性を認識しながらも、共に歩む者の信仰の指標として、公に告白する、ということです。しかしそれは新しさの追求ではなく、本質的なものの追求です。第一ヨハネの手紙4章15節にこうあります。「イエスが神の子であることを公に言い表す人はだれでも、神がその人の内にとどまってくださり、その人も神の内にとどまります」と。この「公に言い表す（口語訳聖書では『告白する』）」という言葉は、「ホモロゲイン」というギリシャ語です。ロゲインというのはロゴス、つまり「言葉」という語の動詞形で、「言う」ということです。「ホモ」というのは、同じ性質、同じ種類であることを意味する語です。だから「ホモロゲイン」というのは「同一・同質のことを言う」という意味で、それが信仰告白するということです。

イエス様は言われました。「あなたはペトロ。わたしはこの岩の上にわたしの教会を建てる」（マタイ 16:18）と。ペトロに対して、イエス様が「わたしを何者だと言うのか」という質問をされて、「あなたはメシア、生ける神の子です」とペトロが告白しました。そうすると、その告白をイエス様が喜ばれ「この岩（ペトロとはギリシャ語で岩の意味）の上にわたしの教会を建てる」とおっしゃったのです。プロテスタント教会は、このペトロの「告白」の上に教会が建てられたのだと考えます。その信仰告白の上に教会が建てられた・・・そう考えますと、教会の信仰（告白）がとても大切であることを痛感します。

信仰告白とは、「ホモロゲイン」つまり同質の言葉と言いました。でも、これは、個人の言葉を無視して、同じ言葉を上から強制される、という事ではありません。会衆一人ひとりの告白が重んじられ、尊重される、それがこのバプテスト教会の特徴であり、素晴らしいところです。でも、それがゆえに私たちは自分の信仰が独善的にならないように他者に心を開かなければなりません。他者の信仰に聞く柔軟性を持たねばなりません。聞きあい、受け止め合っていく、そのことによって、個々の信仰はさらに良いもの（より真実なもの）へと高められ、整えられていくのです。

私たちがお互いに持っている価値観や信仰の言葉は多様です。その多様性を尊重しつつ、同時に「私たちは何によって一つであるか」を確認する、それが教会の信仰告白（宣言）を共に唱える時です。

教会の定例集会

主日礼拝	日曜日	午前 9:00～10:00 (相模原礼拝)
		午前10:40～12:00 (会堂礼拝)
教会学校	日曜日	午前 9:30～10:20
(嬰兒、幼児、小学生、中高生、)		青年、成人、英語、聖書入門の各クラス)
祈り会	水曜日	午後 7:30～9:00
金曜集会	金曜日	午前10:30～12:00
家庭集会 (相模原)	第二火曜日	午前10:00～12:00 (竹村家)
(すずかけ台)	第三木曜日	午後 1:30～3:00 (長谷川家)

日本バプテスト相模中央キリスト教会

〒242-0007 大和市中央林間4-24-6 TEL&FAX046 (274) 3708

牧師：吉田真司 音楽・子どもユース担当主事：江原美歌子 協力牧師：斎藤剛毅

<http://www.sccc.sakura.ne.jp>